

1. Report No. UMTRI-2016-7		2. Government Accession No.		3. Recipient's Catalog No.	
4. Title and Subtitle パリ協定のアシストとして、個々のアメリカ人に何ができるか。				5. Report Date February 2016	
				6. Performing Organization Code 383818	
7. Author(s) Michael Sivak and Brandon Schoettle				8. Performing Organization Report No. UMTRI-2016-7	
9. Performing Organization Name and Address The University of Michigan Transportation Research Institute 2901 Baxter Road Ann Arbor, Michigan 48109-2150 U.S.A.				10. Work Unit no. (TRAIS)	
				11. Contract or Grant No.	
12. Sponsoring Agency Name and Address The University of Michigan Sustainable Worldwide Transportation http://www.umich.edu/~umtriswt				13. Type of Report and Period Covered	
				14. Sponsoring Agency Code	
15. Supplementary Notes					
16. Abstract <p>このレポートは、気候変動枠組条約、2015年のパリ協定を支持して作成された。これは、各国にできるだけ早く温室効果ガスの排出を世界的ピークに到達させ、そして、その後急速な縮小を行うことを求めている。この研究の焦点は、個々のアメリカ人が日々の生活に大きな変化をもたらすことなく、パリ協定に協力する事ができ、そして、これらの行動は日常行動のエリアごとにどのくらいの有効性があるのか、である。</p> <p>人間が排出する温室効果ガスは、5種類ある。：工業、輸送、住宅関連、商業、そして農業。個人は、これらの各分野で排出の低減に貢献することが出来る。しかし、個人が出来る最大の貢献は、この研究で焦点を置く、輸送、住宅関連、そして農業分野である。従って、この研究ではこれら3分野それぞれの選ばれた行動の影響と米国全体の排出を表にまとめる。</p> <p>排出の4つの目標レベルが考えられた。：0.2%、1%、5%、そして10%。報告では、もし、個々のアメリカ人がすれば、米国全体で排出を0.2%まで低減出来るいくつかの行動を概説する。これらの行動は、輸送分野（どのくらい、何で、そして、どのように運転する、そしてどのくらい・どのように飛ぶ。）、住居分野（どのくらい暖房する、何で照明する。）そして、農業分野（どのくらい、どのような食べ物を消費する、廃棄する。）に関連する。しかし、より多く（5~10%）の排出縮小を達成する — それ単独で目標を成し遂げる — 唯一の現実的な行動がある。：それは、より燃費のいい車を運転する事。具体的には、現在の軽量車両の道路上での実際の平均燃費は21.4mpgである。その代わりに、平均燃費が31.0mpgであるならば、米国全体での排出は5%まで低減できるであろう。同様に、平均燃費が56.0mpgであるならば、米国全体での排出は10%まで低減できるであろう。</p> <p>この研究では、選ばれた個々の行動に対する効果を推定した。しかし、排出の低減はただ一つの行動によって実施される必要はない。それでも、車両燃費改善が個人で行う事の出来る、明らかにもっとも効果的な行動であることを示している。そして、車両燃費の改善に匹敵するには、いくつかの行動を実施することが求められる。</p>					
17. Key Words 温室効果ガス排出、工業、輸送、住居、商業、農業、個人の行動、パリ協定				18. Distribution Statement Unlimited	
19. Security Classification (of this report) None		20. Security Classification (of this page) None		21. No. of Pages 26	
22. Price					